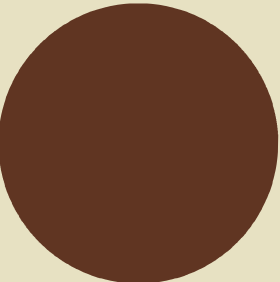
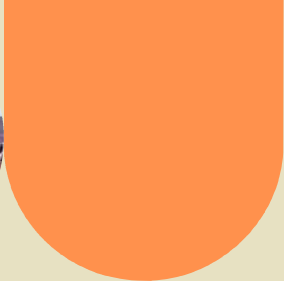
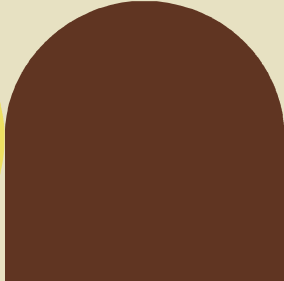
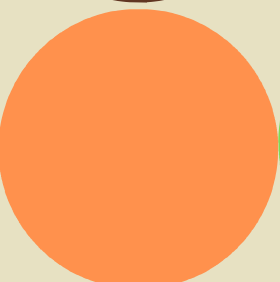


令和6年度 さいわい縁むす日報告書



令和7年3月
川崎市幸区
受託事業者 川崎市社会福祉協議会



目次

I. 令和6年度「さいわい縁むす日」の目的・概要	1
1. 当事業の目的	1
2. 令和6年度スケジュール	2
II. 対象地区選定について	3
1. 希望地区について	3
2. 対象地区の選定	3
III. 地域課題と解決策について	4
1. 地域課題について	4
2. 解決策の検討	5
IV. 「さいわい縁むす日」強化月間について	7
1. イベント開催に向けた準備	7
2. 子ども向け郷土文化講座（フランポネの地元ネタ漫才作成講座）	10
3. 地域情報の発信	12
V. 「さいわい縁むす日」イベント当日の様子	14
1. 当日の概要	14
2. 当日の様子	17
3. 周知活動について	20
VI. 令和6年度さいわい縁むす日の振り返り	21
1. 参加者アンケート	21
2. 係員アンケート	25
3. 地域の活性化に向けた住民の声	27
4. インタビュー	28
5. 考察	34
資料編	37
1. 町内会連合会説明資料	37
2. 打ち合わせ記録	40
3. 町内会自治会イベント開催に向けた手引き	54
4. 制作物	59

I. 令和6年度「さいわい縁むす日」の目的・概要

1. 当事業の目的

■地域コミュニティの希薄化を解決するためのきっかけづくりとして

「人と人とのつながり」は防災・防犯をはじめ、子育てや高齢者の見守り、地域の清掃など区民の暮らしの基盤である。一方で、幸区においては、大型マンションの建設等による人口の増加が進む中、町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、特に若い世代における地域への関心や人間関係の希薄化が進行し、地域力の低下が課題になっている。また、永年区と共に市民活動の活性化に寄与してきた市民活動団体においても、担い手が固定化・減少しており、活動の活性化が課題となっている。

そこで幸区では、私たちが日ごろ生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域への関心や関わりが薄い層に対して地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」事業を令和4年度から本格実施している。

さいわい縁むす日は、地域の抱える課題の解決につながる取組を地元のみなさんが中心となって取組んでいくものであり、この取組を幸区役所や当該事業の委託事業者である川崎市社会福祉協議会が検討段階から支援することを通じて、地域の中の縁が広がっていくことを目的としている。

令和6年度については、対象となる地区より抽出された課題を踏まえ、取組内容を検討し、地域コミュニティの醸成と担い手を増やすとともに、町内会自治会の運営における持続可能な体制づくりについて模索する。

2. 令和6年度スケジュール

令和6年度の「さいわい縁むす日」のスケジュールは下記のとおり

経過	時期	内容	参加人数
各町内会連合会への説明と募集	4月	○幸区町内会連合会説明（11日） ○南河原地区町内会連合会説明（12日） ○御幸地区町内会連合会説明（18日） ○日吉地区町内会連合会説明（24日）	社協：各2名
対象地区の選定	5月	○希望地区募集期間（〆切：20日）	—
	6月	○希望地区ヒアリング（4日） ○対象地区の選定決定（7日）	—
課題の抽出	6月	○第1回打ち合わせ（20日）	自治会：1名 社 協：5名 区役所：3名
企画の内容検討	7月	○第2回打ち合わせ（19日）	自治会：1名 社 協：4名 区役所：2名
	8月	○会場の下見・第3回打ち合わせ（10日）	自治会：6名 社 協：3名 区役所：2名
	9月	○第4回打ち合わせ（9日）	自治会：1名 社 協：4名 区役所：2名
実施にあたっての調整	10月	○第5回打ち合わせ（9日）	自治会：1名 社 協：5名 区役所：2名
	10月	○イベント会場整備（草刈り）・周辺地域への周知（22日）	自治会：1名 社 協：4名 区役所：2名
強化月間取組		○漫才作成講座の開催（16日）	社協：4名
開催準備	11月	○イベント前日準備（2日）	自治会：6名 社 協：4名 区役所：2名
開催	11月	○イベント当日（3日）	自治会：6名 社 協：6名 区役所：3名
振り返り		○第6回打ち合わせ	自治会：1名 社 協：4名 区役所：2名
インタビュー	12月	○対象地区自治会役員へのインタビュー	自治会：1名 社 協：4名 区役所：2名
強化月間取組	2月	○地域情報の収集・発信	—

※参加人数はプロジェクトメンバーの数

II. 対象地区選定について

1. 希望地区について

○令和 6 年度「さいわい縁むす日」の希望地区としては、河原町 1 号館自治会とクレストプライムレジデンス自治会の 2 自治会からあった。

○令和 6 年度の対象地区は、1 地区に限ることから 2 自治会に対して、区役所がヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は、下記のとおりである。

自治会名	河原町 1 号館自治会
出席者	池田会長、他 2 名
ヒアリング内容	・抱える課題は「外国人居住者の増加」である。役員やイベント運営側を引き受けてもらうのに苦労している。 ・入居者の高齢化も進んでいるが、外国人居住者の増加に伴い子どもが増えている。 ・今年度、河原町体育館さよならイベント、流しそうめんイベント、研修旅行などを計画している。 ・その他の取り組みとして、団地祭、バザー、運動会、美化運動、グラウンドゴルフ、ポッチャなど

自治会名	クレストプライムレジデンス自治会
出席者	浅利会長
ヒアリング内容	・設立：令和 4 年 12 月 1 日 区町連加入：令和 5 年 4 月 1 日 ・自治会長は 40 代前半 ・自治会イベントの開催は未経験であり、ノウハウがない ・小倉地区・日吉地区などの周辺町内会・自治会と交流を図りたい ・抱える課題は「交通安全・子育て」（入居者の構成は、未就学児のいる世帯が多い）

2. 対象地区の選定

ヒアリングを実施したところ、河原町団地として抱えている課題はあるが、解決に向けた取組を既に色々と計画しており、日頃より河原町連絡協議会で連携し、地域の「縁むす日」のための取組は行っていることから、今回の申込を取り下げるとの結論に至った。

よって令和 6 年度については、申込のあったクレストプライムレジデンス自治会に決定。

Ⅲ．地域課題と解決策について

1．地域課題について

自治会長との打ち合わせのなかで明らかになった課題は下記のとおりである。

- ① 住民同士の交流の機会が少なく、関係性が希薄化している。

規模が大きいこともあり、クレストプライムレジデンスの住人同士の交流の機会が少ないと感じている。

- ② 自治会活動の担い手が不足している。

自治会加入率は89.5%であるが、自治会活動への関心が低く、また子どもを持つ共働き世帯が多いことから、自治会活動の担い手が不足している。

- ③ 近隣の町内会や商店街等の地域との関わりが少ない。

同じエリアにある近隣の町内会や商店街等との交流を持つ機会が少なく、子どもたち同士が友達であっても親同士の交流や地域とのつながりが持てておらず、大人の交流できる場の必要性を感じている。

小学校新設後も小倉小学校などの近隣とのつながりを持ち続けたいと考えているが、具体的な手法については苦慮している。

- ④ 住民の交通安全への意識が低い。

もともとが工場地帯（新鶴見操車場）であったため、歩行者視点の交通環境が整えられていない部分がある。

同じエリアの小倉にて近年、死亡事故が発生していることから、当該マンションにおいても起こり得る事故と想定して、住民全体の交通安全の意識を高める必要性を感じている。

安全で住みやすい地域とするため、近隣住民と協力して、子どもを見守る目を増やす

- ⑤ 大規模イベント運営の不安

昨年、企画の実施（模擬店の出店等）から案内まで、ほとんどのことをクレストプライムレジデンス自治会の秋まつり実行委員（自治会役員に同じ）が担う秋まつりを開催した際、想定を上回る集客があり、運営がうまくいかなかった。参加した住人からも多くの意見が寄せられ、大規模でイベントを開催するにあたり、運営の不安を感じている。メンバーの負担が大きいことから、企画の広がりにも限界があり、役員の負担軽減や今後の持続可能な運営方法の検討が必要。

2. 解決策の検討

(1) 課題解決に向けた企画の提案

抽出された課題の解決のため、下記の内容を提案した。

- ① 住民同士の交流の機会を創出するため、大規模イベントを開催する。
- ② 自治会への興味・関心を高めるため、イベントにおけるボランティアを募集し、参加を通じて、自治会活動への理解を深めてもらう機会を創出する。また自治会の加入者特典等を設け、自治会未加入世帯に向けて、加入のメリットを示し、加入促進を促す。
- ③ 近隣の町内会や商店街等との交流のため、イベントにおける商店街等への参加の呼びかけや近隣町内会の住民に対して周知を行う。
- ④ 住民の交通安全への意識を高めるため、イベントにおいて、交通安全のVR体験を実施し、事故等のシミュレーションを通じて、交通ルールを守ることの大切さを呼び掛ける。また、消防団に当日の協力を仰ぎ、交通安全の声掛けや誘導等を行なっていただく。
- ⑤ 縁むす日事業におけるプロジェクトチームにおいて、クレストプライムレジデンス自治会のイベントの開催や運営における支援を行う。また地域の関係機関・団体等の資源とのコーディネートやチラシの作成などにおける広報支援を行い、自治会役員や実行委員にイベント開催のノウハウの伝授と初回開催時の負担を軽減する。

(2) 連携団体等とその役割

提案内容を踏まえ、プロジェクトチームで協議をした結果、「さいわい縁むす日 クレストプライムレジデンス自治会 秋まつり」（以下、イベント）を開催することが決定された。

参加者想定を6,000人とし、実行委員の負担及び予算の軽減のため、下記の団体に連携を依頼してイベントを開催した。

① 日吉商店街連合会

クレストプライムレジデンスの道路を挟んで向かいの地域にある小倉商栄会が加入する連合会であり、同じ日吉エリアに店を構えている商店が多数加入している。イベントにおいて、商店街連合会として、飲食の出店を行った。また日吉商店街連合会で作成したご当地キャラクターである太田道灌の着ぐるみ（どうかんくん）が地元文化の発信を行った。

② 日吉地区社会福祉協議会

クレストプライムレジデンスのエリアである日吉第3地区社会福祉協議会とともに日吉第1・2地区社会福祉協議会にも協力し、活動や居場所の紹介を行った。またイベントのチラシの配架等、広報面の協力を行った。

③ 幸区民生委員児童委員協議会

日吉エリアの民生委員児童委員協議会を中心に当日のイベントにて、子ども向けの体験ブースの運営を行うとともに、地域の身近な相談相手である民生委員児童委員の存在や役割等の紹介を行った。

④ 幸消防団

安全なイベント運営のため、会場周辺において注意喚起のポスターの掲示や来場者の整備、交通安全の呼び掛けを行った。

⑤ 川崎市立看護大学

地域貢献委員の学生が参加し、認知症サポーター「キャラバン」のロバ隊長をモチーフとしたペーパークラフト体験を行い、子どもやその親に親しみやすい形で認知症の普及・啓発を行った。

⑥ 幸区内こども文化センター

児童の地域での遊びの拠点である当該施設の周知とともに、事業内容の出前体験の場として昔遊びコーナーを実施。また、幸区社会福祉協議会のわたあめやポップコーンの販売、地域のたすけあい活動の赤い羽根共同募金運動における募金箱の設置に協力。

⑦ 日吉郷土史会

1999（平成 11）年から、日吉地区の記憶と歴史を語り継ぐ活動を続けている。クレストブライムレジデンス自治会の希望である、地域の文化と触れ合う機会として、日吉エリアの郷土史のパネル展示やその説明を行った。

⑧ お美味さんくらぶ

地元川崎でとれた新鮮で安全な美味しい野菜の移動販売を展開しており、当日のイベントでも販売会を行った。

⑨ 川崎市教育委員会

令和 7 年度新設予定の川崎市立新小倉小学校の紹介パネルの展示を行った。

⑩ フランボネ（吉本興業所属）

川崎市出身のマヌー島岡さんとスイス人の妻、シラちゃんによる国際夫婦漫才コンビ。神奈川県「住みます芸人」として川崎市社会福祉協議会からの福祉基金助成金を受け活動しており、クレストブライムレジデンス自治会の希望である地元文化の発信のため、日吉・小倉エリアの漫才ネタの作成及び、イベント当日の司会進行を担った。また小倉こども文化センターにおいて、講座を開催し、子どもたちに漫才作成の仕方をレクチャーし、イベント当日の舞台発表を試みた。

⑪ 神奈川工科大学インタラクショndeザイン研究室

川崎市社会福祉協議会と共同研究を行っている神奈川工科大学から、鈴木 浩研究室で開発した「サンコロビンゴ」を借用し、子ども向けの体験コーナーを実施。

⑫ 幸区役所危機管理担当

交通安全意識の醸成のため、自転車シミュレーター体験を実施。

⑬ 地域みまもり支援センター地域ケア推進課

地域包括ケアシステムの普及啓発や地域活動の紹介、缶バッヂ作成コーナーを実施。

IV.「さいわい縁むす日」強化月間について

1. イベントの開催にむけた準備

(1) 打合せ・情報共有

イベントの開催に向けて自治会役員を含めたプロジェクトチームで打ち合わせを行い、実施内容の検討・調整、当日の運営について検討を重ねた。また、内容や役割分担、出店団体等の取りまとめやスケジュールの共有を図った。（※添付資料）

(2) 連携団体への依頼・打合せ

各種連携者・団体への依頼や打ち合わせを下記のとおり実施。

日にち	連携者・団体	内容
8月28日	小倉中町内会 土倉会長	小倉の地域情報の収集
8月28日	神奈川工科大インタラクショ ンデザイン研究室	イベント趣旨説明、協力内容の確認等
8月30日	フランポネ、土倉会長	地元の漫才ネタの作成のため、参考情報の収集
10月29日	日吉郷土史会	郷土史紹介パネルの内容や配置等の検討
10月30日	お美味さんくらぶ	会場下見・搬入経路の確認

(3) 広報協力

イベントの案内として、クレストブライムレジデンスの全世帯にチラシのポスティングを行った。作成及び印刷については、自治会役員の負担軽減のため、社会福祉協議会が代行した。（※添付資料）

また、日吉地区町内会連合会や日吉地区商店街連合会の定例会に参加し、顔の見える関係性を築きながら、イベント開催の理解を得ることに注力した。

(4) ボランティアの募集

当日の円滑な運営及び活動を通じて、自治会への理解を深めていただくため、自治会加入者向けに運営ボランティアを募った。10名の申し込みがあり、10月26日に事前説明会を行った。

(5) 掲示物等の作成

来場者向けに駐輪スペース等の掲示物や各ブースの看板をデザイン及び作成した。また、クレストプライムレジデンス自治会の活動紹介や会員募集の案内を掲載したプログラムをデザイン及び作成し、来場者に配布。後日、10世帯の加入につながった。(※添付資料)

(6) 会場の下見、近隣地域への周知

会場レイアウトや当日の円滑な運営のため、自治会役員とともに会場を下見した。またレイアウト図作成のため測量を行った。雨天時の開催場所の検討を合わせて行い、小倉跨線橋下にも足を運んで、レイアウトを検討した。

開催間近には、音響テストや会場整備のため「さいわいふるさと公園」の草刈りを行った。また、近隣住民に開催の理解を得るため、周辺150世帯にチラシと併せてビラを配布した。

イベント前日は大雨のなか、クレストプライムレジデンス自治会役員や実行委員とプロジェクトチームと一緒に備品の運搬から会場案内の掲示、テントの設営等を行い、当日に向けた準備を整えた。

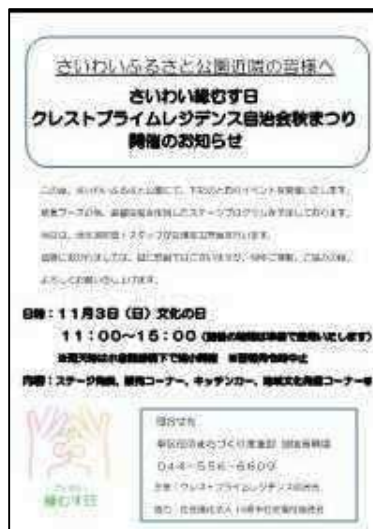
■情報共有(資料)

さいわい緑むす日2024 内容等役割分担一覧							
内容	責任者	実施・協力団体	調整担当	必要物品	配置人員	お弁当数	備考
※※※※※が検討、決定事項 お弁当準備 水色：自治会、黄緑：区社協							
□ 〆本席	区社協	区社協	区社協				
□ 飲み物の販売	区社協	区社協	区社協				
□ キッチンカー	区社協	区社協	区社協				
□ 野菜の販売	区社協	区社協	区社協				市道科：今後の調整の中で検討 一なし お弁当くらぶに家畜者200名想定で依頼。 10月中旬に現地下見と打ち合わせを実施予定。 トラクタからの運下りし可能。 前日キャンセルで可だが、野菜の一部買取をお願いできれば、 一買取の上、マンション内で販売
□ 子ども向けイベント①	区社協	区社協	区社協				市道科：今後の調整の中で検討
□ 子ども向けイベント②	区社協	区社協	区社協				一なし 一販売は大学が担当。 一交通費等の謝礼について要確認 一なし 一販売より交通費、自給の希望があったが他団体との整合性が取れなくなるため、サンコロジノのみでお願い。先生が来てくれるかは確認。 一先生の来場なし。 一調整が難しいと判断
□ 子ども向けイベント③	区社協	区社協	区社協				学生の来場のみ向けに内容を再確認する予定 区社協のバリエーションを決定。(※新緑の準備は区社協)
□ 子ども向けイベント④	区社協	区社協	区社協				わたあめ・ポップコーンについて、ご文での販売の場合、事前に保護者のアレルギーマネジメントが必要があることから、区社協とする。スタッフについてはご文で調整。
□ 子ども向けイベント⑤	区社協	区社協	区社協				市道科：今後の調整の中で検討 一なし 一販売は大学が担当。 一交通費等の謝礼について要確認 一なし 一販売より交通費、自給の希望があったが他団体との整合性が取れなくなるため、サンコロジノのみでお願い。先生が来てくれるかは確認。 一先生の来場なし。 一調整が難しいと判断
□ 自転車レーシング・VR体験	区社協	区社協	区社協				市道科：今後の調整の中で検討 一なし 一販売は大学が担当。 一交通費等の謝礼について要確認 一なし 一販売より交通費、自給の希望があったが他団体との整合性が取れなくなるため、サンコロジノのみでお願い。先生が来てくれるかは確認。 一先生の来場なし。 一調整が難しいと判断
□ 地域情報の展示	区社協	区社協	区社協				市道科：今後の調整の中で検討 一なし 一販売は大学が担当。 一交通費等の謝礼について要確認 一なし 一販売より交通費、自給の希望があったが他団体との整合性が取れなくなるため、サンコロジノのみでお願い。先生が来てくれるかは確認。 一先生の来場なし。 一調整が難しいと判断

■会場下見の様子



■近隣地域への周知の様子



■草刈りの様子



■前日準備の様子



2. 子ども向け郷土文化講座（フランポネの地元ネタ漫才作成講座）

（１）開催の概要

日時：令和6年10月16日（水）14時30分～15時30分

会場：小倉こども文化センター（小倉5丁目17-59）

（２）開催の経緯

地元文化の発信のため、イベント当日の司会進行や地元ネタ漫才の作成・披露を吉本興業所属で神奈川県「住みます芸人」のフランポネに依頼。当日の舞台発表として、子どもたちによる漫才披露の提案を受け、講座を開催するに至った。

（３）講座の内容

「どうも」という掛け声に始まり、「もういいわ」というツッコミで終わる漫才の基本形式をレクチャーした。2人もしくは3人一組をつくり、参加した子どもたちが組になり、順番に「どうも」の掛け声の発声練習から、ネタ作りまでを段階を踏んで行っていた。

（４）参加者数

23名

■漫才講座の様子



(5) 成果

想定していたイベント当日のネタ披露までは結びつかなかったが、講座を通じて子どもたちは地元の話題を織り交ぜたネタの作成に励んでおり、地域に関心を寄せる機会となった。

また、アンケート結果から講座を楽しめた様子や今後も学んだことを活かしていきたいという意欲がうかがえた。

小倉こども文化センター 2024.10.16

【君も未来のM-1王者?!】アンケートまとめ

① フランポネさんに会ってどう思いましたか？

- ・おもしろい人でした
- ・漫才を教えてくれたいい人でした
- ・たのしかった
- ・会えてうれしかった
- ・次に会ったら作った漫才をみてほしい
- ・お笑いを教えてくれてうれしかった
- ・めちゃくちゃ楽しかった。もう一回やりたい
- ・漫才がおもしろかった
- ・本物だ、すごいなっておもいました。また会いたいです

② 漫才を教えてもらってどう思いましたか？

- ・漫才を教えてもらって好きになりました
- ・漫才を教えてもらったので、学校でやりたいです
- ・漫才のやり方がわかって面白かったです
- ・漫才を作るのが面白かったです
- ・前でやるのがはずかしかった
- ・教えてもらえてよかった
- ・いろんな漫才があることに気づいた
- ・こんなに早くできると思わなかった
- ・もっとやりたい
- ・もっと面白くなったら家族に見せる
- ・おもしろい人はみんなを笑わせることができるんだとわかった



3. 地域情報の発信

11月3日(日)に行われたイベント開催後、参加者アンケート及び「地域の活性化に必要なこと」として寄せられた声をもとに、幸区社会福祉協議会の日頃からの地域や関係機関とのつながりを活かし、クレストプライムレジデンス自治会の近隣地域の社会資源等をまとめたチラシを作成。自治会にて共有するとともに、自治会のイベント等を通じて住民に配布した。

これを機にこれまで以上に地元の地域に顔を出していただき、地元資源を活かしながら、地域とのつながりを感じてもらおう契機となればと考える。

[作成物]

暮らしに役立つ地元情報
HIYOSHI CITY MAP

マンション近くの地域情報です。
こちらを参考に、これまで以上に地元で顔を出していただき、地元資源を活かしながら、地域とのつながりを感じてもらえれば幸いです。

 1 バセオやがみ 生活介護事業所として、製菓や下請け作業を行っています。プリン(菓子)が絶品と評判です！	 2 セルブきたかせ 生活介護・就労継続支援B型の施設でパンの販売やカフェを行っています。	 3 夢見ヶ崎動物公園 2024年10月にパークセンターがオープン。地域とのコラボイベントや講座を開催。	 4 天照皇大神 夢見ヶ崎公園の神社として親しまれ、厄除け・お宮参り等様々なご祈禱・ご祈願ができます。
 5 谷戸福栄会 昔ながらのお店から、2018年オープンのCOTONIA GARDENまで！	 6 南加瀬中央通り商和会 沖縄家庭料理、焼き鳥、スナック等を販売しているお店もあります！	 7 南加瀬原町商店会 そば、焼肉、ラーメン、和食、イタリアン等豊富なメニュー。秋祭り参加のあんびん屋さんも！	 8 小倉商業会 小倉湯や地酒の販売をはじめ、魚屋、花屋、米屋、便利屋まであります！
 9 小倉の駅舎陽だまり 誰もが気軽に利用し、活動しながら、出会い・ふれあい・支えあい・学びあう、集いの場。	 10 小倉こども文化センター 児童を対象にした行事の開催遊びの支援、子育て親子の支援子育て支援センターもあります。	 11 小倉老人いこいの家 高齢者のふれあいや健康づくりの場。市民団体向けに夜間休日の施設開放しています。	 12 川崎市立看護大学 学園祭(10月)、市民公開講座など、地域参加型のイベントを開催しています。

詳しい内容や最新情報はそれぞれのホームページやX等からご確認ください。

ご当地情報

地元の文化や町の営みにふれるイベント等の情報です。
ふらっと足を延ばしてみませんか？

▼小倉神社



素戔鳴尊（スサノオノミコト）と誉田別名（ホンダワケノミコト）を祭る、
地元を見守る神社。

小倉に古くからあった八幡神社と八雲神社の2社が合祀して、八幡神社の地に1956(昭和31)年に
創建。前身の2社が創建された年代は明らかにはなっていないが、八雲神社境内から出土した石
碑によると、八雲神社は鎌倉時代に神聖視されていた地に創建され、800年ほどの歴史がある。

「ふれあい朝市」の開催

日時：毎月第一日曜日 午前10時～（雨天決行）

場所：小倉神社境内

地元の小倉商栄会と小倉中町内会の主催で、地域コミュニティの活性化を目的として
開催しています。

お店は焼き鳥・パン・お酒・サーターアングラー・くじ・ワークショップ・わたあめ・
鉢植え・フリーマーケット・お惣菜など10～15店程出店しています。

（※出店内容は変動あり）

神楽殿でのカラオケや最後に大人も子どももみんなで輪になって小倉音頭を踊ります。

▼日吉商店街連合会

日吉商店街連合会 ご当地キャラクター 「どうかんくん」

夢見ヶ崎地区にゆかりが深い太田道灌公
をモチーフとしたキャラクター
若い世代や子ども達に忘れ去られつつあ
る日吉ならではの「歴史・文化・教育」
を振り返り、伝承・深掘りしながら地
域と商業の活性化を図っている。



幸区日吉地区の4つの商店街で構成され、日吉地区のシンボルである
夢見ヶ崎動物公園等で行われている各種イベントに参加・協力。

「ゆめみ”車”マルシェ」

夢見ヶ崎動物公園の「であうつながる ひろがる」をコンセプトとした「ゆめみ”車”マルシェ」
に協力し、飲食・物販サービスの提供を行っています。2025年は通年開催予定となっており、
引き続き参加・協力を予定。

「春・秋動物園まつり」

バックヤードツアー、園や体験、キーバズガイド等が行われているまつりにもキッチンカー
等飲食物を提供しています。

その他、節分祭や観梅会にも協力しています。

また、日吉地区にゆかりのある太田道灌という地域資源を発掘し、
道灌グッズの販売や名産品開発も行っています。詳細は右記の
FACEBOOKをご覧ください。



地域情報

▼子育て情報誌「おこさまっぷ」

幸区内の子育て情報がつまった冊子です。健やかガイド
から遊び場・友だちさがし、室内遊びデビューなどお子
さんの月齢にあった情報を紹介しています。



▼お散歩に行こうね！

幸区内の子育て支援機関のイベント情報や、地域の育児
相談情報などが見やすいカレンダー形式にまとまってい
ます。子育て中の方必見の情報が満載です！



▼子どもの居場所

子ども食堂や学習支援、地域交流の場をまとめて紹介し
ています。ボランティアをしてみたい！居場所を作りた
い！そんな時にもお役立てください。



▼まちのおと「ようこそまちボへ」

さいわいソーシャルデザインセンター「まちのおと」が
運営する、地域を応援するWEBサイトです。幸区で活動
する人・団体・町内会・自治会などのイベントや、活動
情報をお届けします。



各種相談先

▼幸区社協ボランティアセンター

地域活動に参加してみたいけど…
最初の一步に迷ったとき、活動内容の相談や活動先
の紹介を行っています。活動を応援する助成金や事
故等の備えとして保険の受付もしています。



▼夢楽新川崎小規模多機能ホーム小倉

生活支援コーディネーター
高齢になっても住み慣れたわが町で、安心して暮らして
いけるように、地域住民が支え合う仕組みを、地域のみ
なさんといっしょにつくるお手伝いをしています。 あぐら変え愛護LINE



作成・協力

▼作成

幸区社会福祉協議会
川崎市幸区戸手本町1-5-11 川崎市さいわい健康福祉プラザ内
TEL:044-556-5500 メール:saiwaiku@esw-kawasaki.or.jp

▼協力（順不同）

日吉商店街連合会、ハセオやがみ、セルブきたかせ
川崎市立看護大学、夢見ヶ崎動物公園、小倉こども
文化センター、小倉神社、小規模多機能ホーム小倉

V.「さいわい縁むす日」イベント当日の様子

1. 当日の概要

(1) 開催日時及び会場

日時：令和6年11月3日（日）11時～15時

会場：さいわいふるさと公園（新川崎7）

(2) 概要

○クレストプライムレジデンス自治会が抱える課題に対して、解決に向けた提案のとおり多くの団体と連携して、催し物を実施した。また社会福祉協議会のもつ日頃からの地域とのつながりを活かし、地域活動を行う民生委員児童委員をはじめとした関係団体にも協力いただき、近隣とのつながりを持つ契機となった。

○日吉商店街連合会による地元商店のPRを兼ねた出店とともに、キッチンカーを4台呼ぶことで、マンションの規模に見合う飲食物を準備した。自治会加入者向けには景品を準備し、加入のメリットを設けた。景品については、社会福祉協議会のつながりで物品を集めたことにより、昨年の秋まつりよりも品数を多く準備できた。またプロジェクトチームのメンバーはトランシーバーを携帯することで、迅速な情報共有や対応を行える体制を作った。これらのことから、大規模イベントを運営する上での不安の解消に努めた。

(3) 来訪者数

当日の来訪者数は、想定を大きく上回る6,800人であったが、混乱なく運営した。

(4) 実行委員・ボランティア

クレストプライムレジデンス自治会秋まつり実行委員6名、ボランティア10名

(5) 企画の内容

①ステージ出演 司会：フランポネ（吉本興業所属）

内容	団体名
開会のあいさつ	クレストプライムレジデンス自治会会長
ダンス発表	danser camarade mélange
日本舞踊の発表	日本舞踊 若宮流
飛び入り参加企画	出演なし
まちおこし漫才・おぐ1グランプリ	フランポネ
開会のあいさつ	クレストプライムレジデンス自治会会長

②販売コーナー

内容	出展団体・商店
わたあめ・ポップコーン	社会福祉協議会
飲み物	クレストブライムレジデンス自治会
フランクフルト	クレストブライムレジデンス自治会
カフェ	カフェデニム（幸区都町）
パン	日吉商店街連合会加入店舗
おにぎり、から揚げ、玉こんにゃく、喜久屋和菓子の詰め合わせ、伊勢屋海苔、かき氷、もつ煮、ムーンジェリーパンとコーヒー	日吉商店街連合会
ホットドッグ	クレストブライムレジデンス自治会 バーベキュー同好会
地元野菜	お美味さんくらぶ（高津区末長）
アルコール	クレストブライムレジデンス自治会

③キッチンカー

内容	出展団体・商店
チュロス、ホットドッグ、ドリンク類	R I O C A F E (川崎市内で営業中)
タコライス、フライドポテト、から揚げ	キッチンカーぐるぐる(川崎市内で営業中)
オランダワッフル、ノンフィートワッフル、オランダパンケーキ、コーヒー・紅茶 パックジュース	オランダワッフル専門店「金の貝」 (川崎市内で営業中)
クレープ	F U F U (川崎市内で営業中)

④地域文化発信コーナー【体験系】

内容	出展団体・商店
出前こども文化センター	幸区内こども文化センター
挑戦！サンコロビンゴ	神奈川工科大学インタラクティブデザイン研究室
自転車シミュレーター体験	幸区役所危機管理担当
スーパーボールすくい	ゴールドクレスト

ロバ隊長のペーパークラフト体験	川崎市立看護大学地域貢献委員
キットパスで手形をとろう！	幸区民生委員児童委員協議会
花手水作成体験（川崎市制100周年記念及び全国緑化フェア関連事業）	幸区地域振興課まちづくり推進係

【展示系】

内容	出展団体・商店
歴史ある里 日吉	日吉郷土史会
自治会活動報告	クレストプライムレジデンス自治会
新小倉小学校（令和7年度開校）の紹介	川崎市教育委員会
幸区の地域活動紹介 ・ 民生委員児童委員活動の広報啓発グッズの配布 ・ 地域包括ケアシステムの広報啓発及び缶バッジコーナーの実施 ・ 事業紹介パネルの展示	・ 幸区民生委員児童委員協議会 ・ 幸区役所地域ケア推進課 ・ 幸区社会福祉協議会

【参加型アンケート】

今後の地域活動や住みよいまちづくりの等の参考とするため、来場者に『まちの活性化に必要なこと』を自由記載で付箋に書いていただく。（別途集計、分析）



⑤その他

クレストプライムレジデンス自治会によるハロウィンにちなんだフォトスポットが設置された。

2. 当日の様子

①ステージ出演の様子

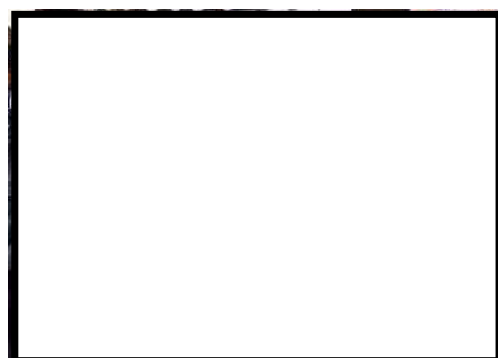
クレストプライムレジデンス自治会会長による開会のあいさつに始まり、マンション内で募った出演者たちが多彩なパフォーマンスを披露した。また、フランポネによるまちおこし漫才も披露され、笑いを通じ郷土文化の伝承に寄与した。



②販売コーナーの様子

日吉商店街連合会やキッチンカー等によるバリエーション豊富な食べ物に、来場者の行列がでたりと、にぎわっている様子が窺えた。地元商店を知る機会となったとともに、日吉商店街連合会で作成したご当地キャラクターである太田道灌の着ぐるみ（どうかんクン）が会場内を練り歩き、来場者と写真撮影をするシーンも見受けられた。どうかんクンが展示コーナーの呼び水となり、「歴史ある里 日吉」にも多くの方が足を運ばれ、地元文化の発信にもつながった。

また、会場内に飲食コーナーを設けたことで、住民同士で交流しながら、食事をしている様子も散見された。



③キッチンカーの様子

4台のキッチンカーに協力いただき、お昼時には行列ができてりと、大盛況であった。

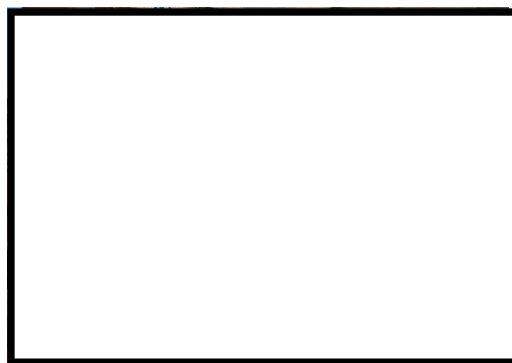
事前に環境整備（草刈り）を行ったこともあり、景観もよく、子どもたちが安全に行き交えるスペースとなっていた。



④地域文化発信コーナー【体験系】の様子

マンションの住人層から未就学児の子どもたちでも楽しく遊べる体験を取りそろえた結果、たくさん子どもたちがそれぞれのブースではしゃぎ、楽しく過ごす姿が見受けられた。

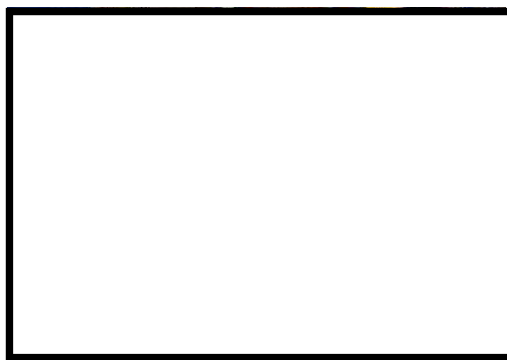
自転車シミュレーターのコーナーは、常時行列ができており、VR 体験を通じて子どもたちやそれを見守る親の交通安全の意識の向上に貢献した。キットパスで手形をとろう！のコーナーにも引っこちなしに親子がつめかけた。子どもたちのアレルギー等に配慮した米由来のキットパスを活用することで、誰もが楽しく、また子どもの成長の記録を残すことができ、微笑ましい親子の交流が見られた。



地域文化発信コーナー【展示系】の様子

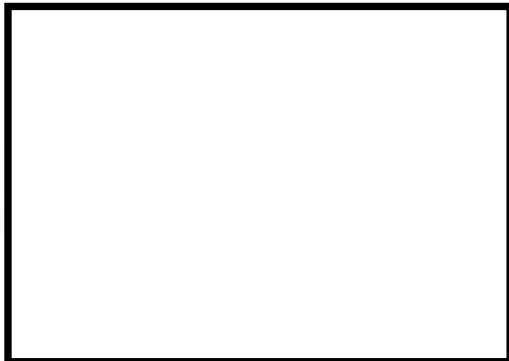
どうかんクンにいざなわれて多くの方に『歴史あるまち 日吉』のパネル展示をご覧いただきました。クレストプライムレジデンスの住民には、もともと地元に住んでいた方や移り住んでこられた方など、さまざまな住民層があるが、歴史という観点からも住んでいる町に興味を寄せてもらうきっかけを作ることができた。

また、民生委員児童委員の普及啓発を通じて、身近な地域に相談相手がいることを知っていただく機会となった。



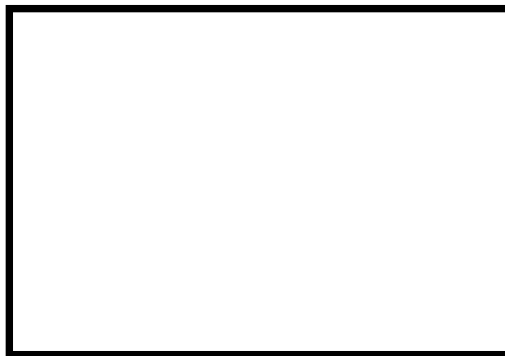
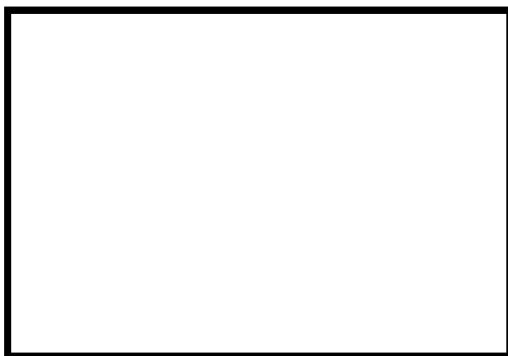
地域文化発信コーナー【参加型アンケート】の様子

自治会加入特典のプレゼントの交換場所にブースを設けたことで、149枚もの付箋を集めることができた。



⑤ その他

フォトスポットは、ハロウィンの仮装をした親子連れでにぎわっていた。花手水作成体験にも多くのこどもが参加し、初めての体験を楽しんでいた。



3. 周知活動について

(1) チラシの配布・ポスターの掲示

○チラシを作成し、下記のように配布した。(※添付資料)

クレストプライムレジデンス内：全戸配布(1, 700世帯)

町内会掲示板：周辺町内会掲示板への掲示依頼(21町内会)

近隣住宅：ビラと併せてポスティング(150世帯)

○チラシをポスターサイズに印刷して、マンション内各棟に掲示(40枚)

(2) クレストプライムレジデンス内

マンション内の管理システムを通じて、参加を呼びかけ

(3) 社会福祉協議会のSNS等を通じて

○幸区の社会福祉 9月号(令和6年9月1日発行)：44, 000部発行

○川崎市社会福祉協議会 X投稿(令和6年11月2日) フォロワー数：414人



※なお、タウンニュース11月29日号で当日の様子を報じる記事が掲載された。

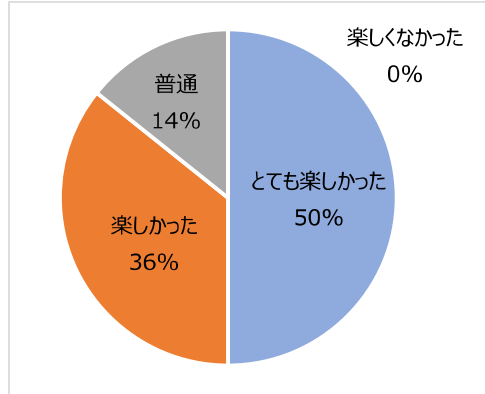


記事 二次元コード

VI. 令和 6 年度さいわい縁むす日の振り返り

1. 参加者アンケート（28 名回答）

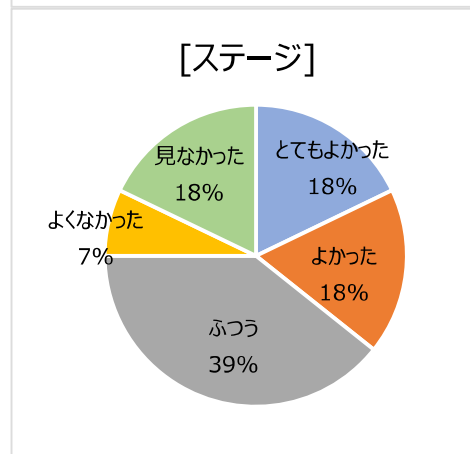
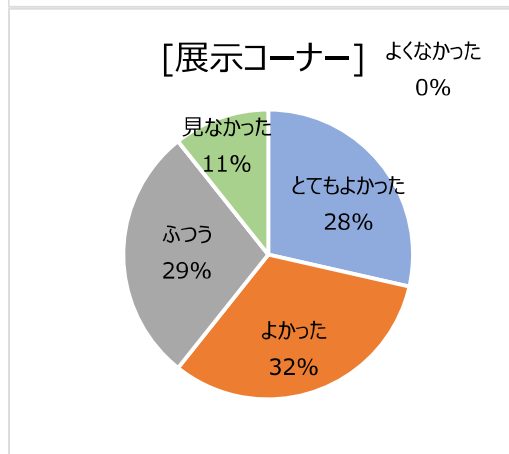
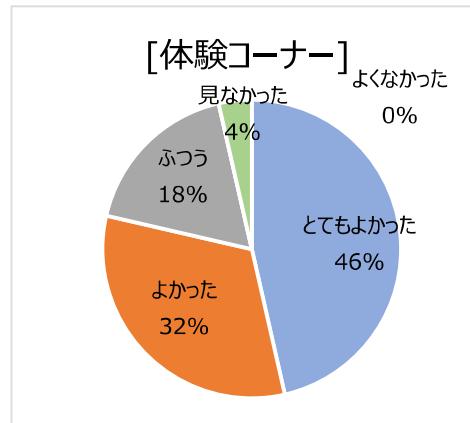
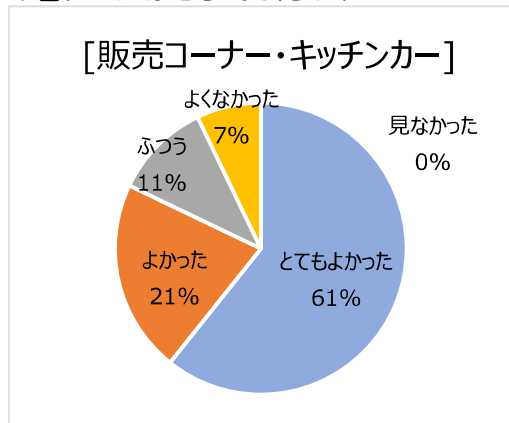
◆「クレストプライムレジデンス秋まつり」は楽しかったですか？



秋まつりに参加した 86%が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答。

ブースについて、販売コーナー・キッチンカー、体験コーナーは約 80%、展示コーナーも 60%の方が「とてもよかった」「よかった」と回答。ステージに関しては「ふつう」「よくなかった」「見なかった」が 64%となり課題感が感じられる。

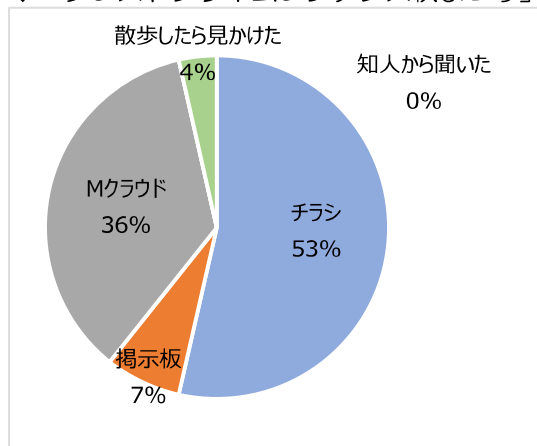
◆各ブースはどうでしたか？



◆特によかったブースがあれば教えてください。

飲食	キッチンカー（2名）、ポップコーン（2名）、オランダワッフル、フランクフルト、カフェ、パン、もつ煮、ブラジルサンド、唐揚げ、選択肢が多くて良かった
その他	自転車シミュレーター（2名）、手足形（2名）、昔遊び、体験コーナー、ロバ作り、ハロウィンの写真ブース、ボールすくい

◆「クレストプライムレジデンス秋まつり」は何で知りましたか？

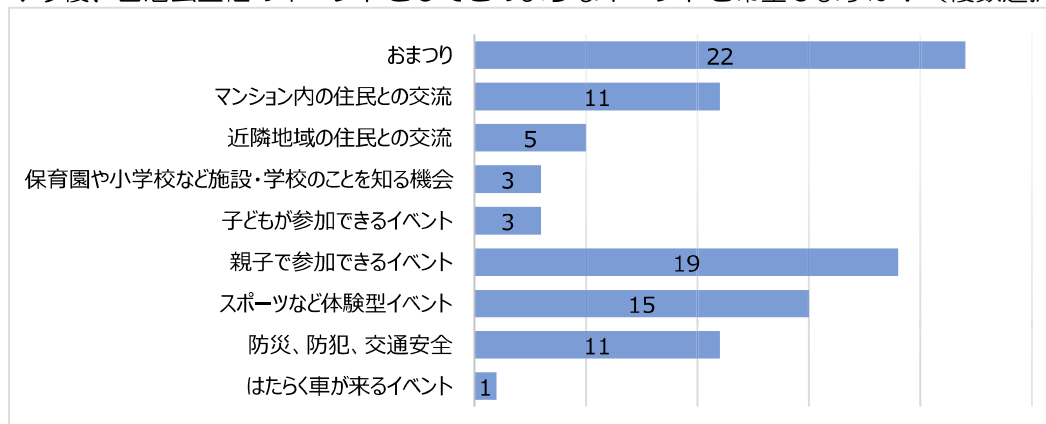


チラシを見て知った方が 53%と過半数だった。
 混雑の改善など前年からの改善が評価されていた。
 また、地域商店の販売ブースは「気になっていたが行ったことがなかったので知れてよかった」等の意見もあり、地域住民と商店がつながるきっかけになっていた。

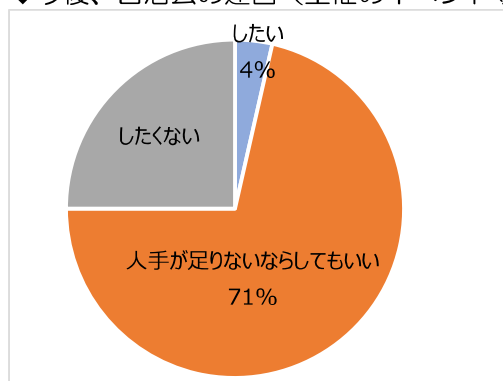
◆「クレストプライムレジデンス秋まつり」について、感想があればご記入ください。

- 昨年よりスペースが確保され、混雑がだいぶ回避されて良かった、地元出店があり今後店舗に行く参考になった。
- 飲食店の選択肢が多く、混雑がひどくなくて良かったが飲食の価格が少し高く、飲食スペースが少ない。ゴミ袋やウェットティッシュが置いてあったのはとても良かった。
- 当日のタイムスケジュールやマップは事前に欲しい。
- クレストレジデンスを全面にお願いしたい。
- 自治会が売っている割にフランクフルト 300 円は高いなと思いながら買ったら、食べている途中に 100 円になった。そんなタイミングで値下げするなら私達も安くして欲しかった。気のせいかもしれないが、豪華商品とか見た気がしたので、引換券の参加賞がうまい棒はしょぼいと思った。
- 美味しかった。わたあめなどの待ち行列がなくて良かった。広くてよかった。楽しかった
- 飲食スペースにテントがあると嬉しい。
- 毎年恒例にして欲しい。
- もう少し祭りがあれば良かった（空中の旗や、ブラスバンド、ヨーヨー、射的、ミニ新幹線、空気で膨らます巨大遊具、はたらく車、飲食スペースをもう少し増やして欲しい）
- 広くなって安全に遊び回れて良かった。あえて言うなら飲食店の商品に日差しが当たっていたのが気になった。
- 地域の商店が出店していただいたのはよかった。商店名だけだと何処にあるのかわからないので「小倉小近くのアんぴん屋」などマンション住人なら分かるランドマークとともに記載があると、より親しみを持って接することができると思う。
- 地域の活動内容を知る事が出来て良かった
- ステージ出演募集を Mcloud で知り応募した。たくさん準備して頂き、楽しく参加することができた。前日は雨の中の準備で大変だったと思う。本当にありがとうございました。
- 行ってみたいと思っていたカフェデニムが出張していて嬉しかった。全体的にもうひと回り小さく設営したら一体感があってよかったかも。それか飲食スペースを外側に設けるとか。ガラんとした見た目になっていた気がする。ステージが時間通りじゃなかった？やっている時間がなかったような気がする。
- 会場が広くて良かった。隣の公園でも遊べるので子どもにとっても良かった
- 来場が午前中に集中していました。良すぎた天候と、日陰がなかったことも原因のひとつなのかなと思った。テントは風が怖いので難しいところもあるかとは思いますが…

◆今後、自治会主催のイベントとしてどのようなイベントを希望しますか？（複数選択可）



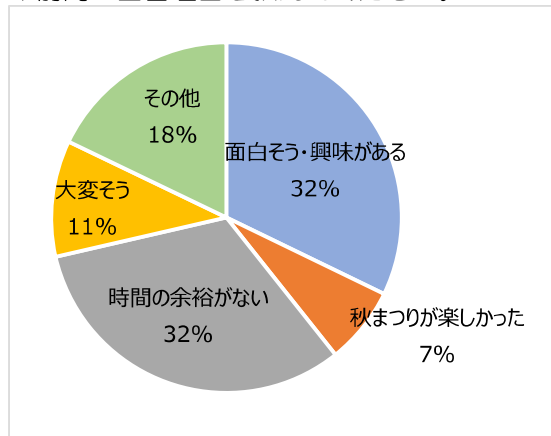
◆今後、自治会の運営（主催のイベント等）のお手伝いをしたい希望はありますか？



自治会運営を「したい」「人手が足りないならしてもいい」と前向きな意見が75%あった。理由に「秋まつりが楽しかったから」との意見もあり、自治会の姿を見て、体験してもらうことで興味を持ってもらえることが分かる。

反面、43%の人が「時間の余裕がない」「大変そう」と回答しており、役員の負担感が課題と挙げられる。

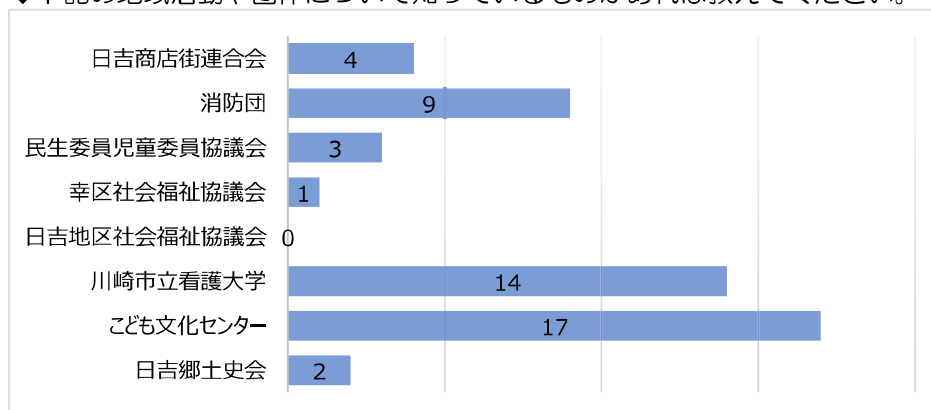
◆前問の回答理由を教えてください。



その他意見

- ・参加したいが、小さい子供がおり、土日は主人が仕事で子供の面倒を見られる人がいないので難しい。
- ・地域との関わりを持ちたい。
- ・興味はあるがなかなか時間が取れないので、積極的に参加はできないが、人が足りずに困っているようなら力になりたい。
- ・またステージ出演などありましたら参加させて頂きたい。
- ・嫁が役員の一人

◆下記の地域活動や団体について知っているものがあれば教えてください。



◆自治会活動について御意見ありましたらご記入ください。

- ・日頃より、企画運営、ありがとうございます。
- ・昨年のハロウィンパレードが楽しかったのでまたやってほしい！
- ・これだけスペースあるのであればスナッグゴルフはどうですか？
- ・いつもありがとうございます。
- ・朝から3時間近くずっと遊んでいました。すごく楽しかったです。
- ・自治会のコミュニティサイトなどがあればもっと住民同士が交流しやすいと思います。また、今は祭りを含めて情報が行き渡っていないと感じるので、それもコミュニティサイトがあったら情報が届きやすいかなと思いました。
- ・食事スペースが少ない
- ・いつもご苦労さまです。
- ・今回はありがとうございました。

2. 係員アンケート（6名回答）

◆秋まつりの感想を教えてください。

楽しかった	3名
まあまあ楽しかった	2名
どちらとも言えない	1名
楽しくなかった	0

前向きな回答が多く得られた。子どもと一緒に運営に関わった体験がよかったとの声もあり、子育て世帯が多いという特徴が見られる。

◆前問の回答理由を教えてください。

- ・あまり休憩が取れなくて、祭り自体を回る時間がなかったため。
- ・ただただ、与えられたタスクを実施しただけであるため。
- ・子どもと一緒に店番が出来て貴重な体験だった。

◆秋まつりの良かった点を教えてください。

- ・色々な団体が参加していて程よい規模だった。
- ・特にいざこざなど無くて、平和で良かった。
- ・マンション内だけのイベントではなく、地域のお店、看護大学のブースがあり地域交流をはかれたと思った。
- ・地域や住民の方との交流ができた。

住民同士や地域との交流が評価されている。広報や備品準備などが次回への課題となっている。

◆秋まつりの次年度に向けた改善点や負担に感じたことなどを教えてください。

- ・祭りの開催自体もボランティア募集に関しても、もう少し宣伝すればもっと人が集まったのではと思う。
- ・ジュースに関して、氷がなくほぼ冷えていない商品を買っていました。品数多く、もっと来場者が来ていたらさばくのが大変だったと思う。品物もカルピスのレモン味だったり、なんでこれ選んだのかなと思うチョイス。子どもの来場者も多いと予想されていたのに缶ジュースも微妙だと感じた。
- ・設営に必要な備品が準備されていたら良い。（紐、ガムテープ、ハサミなど）

◆秋まつり以降、住民同士の関係に変化を感じますか？

とても深くなったと感じる	0
深くなったと感じる	3名
特に感じない	3名
わからない	0

秋まつりだけで住民同士の関係を深めることは難しいと考えられる一方で、半数が「深くなった」と回答している点は評価できる。

◆前問の回答理由を具体的に教えてください。

- ・普段話すことのない方達と知り合い、打ち上げ含めてすごく楽しかったが、日常での生活時間や行動範囲が異なるのか、あれ以来誰とも会えない。
- ・前後で何も変わっていないため。
- ・住民同士で関わるイベントはなかったと思う。
- ・お祭り以外でも交流することがあった為

◆今後も秋まつりなどの運営やお手伝いを希望しますか？

したい	5名
したくない	1名

ほとんどの方が次回も希望しており、貢献意欲の高まりが感じられる。

◆前問の回答理由を教えてください。

- ・とても楽しかった。もっと交流を深めたいし広げたいと思った。
- ・阿部さんが、人が足りないと困っていたら、参加します。
- ・どちらでもよい。選択肢がないので。
- ・住民として少しでも役にたてたら良いと思った為

◆生活の中で地域の課題と感じていることがあれば教えてください。

- ・バス便が悪く、新川崎駅や役所へ行きにくい

◆自治会の役員・ボランティアとして今後どのようなイベント等が必要だと感じているか教えてください。

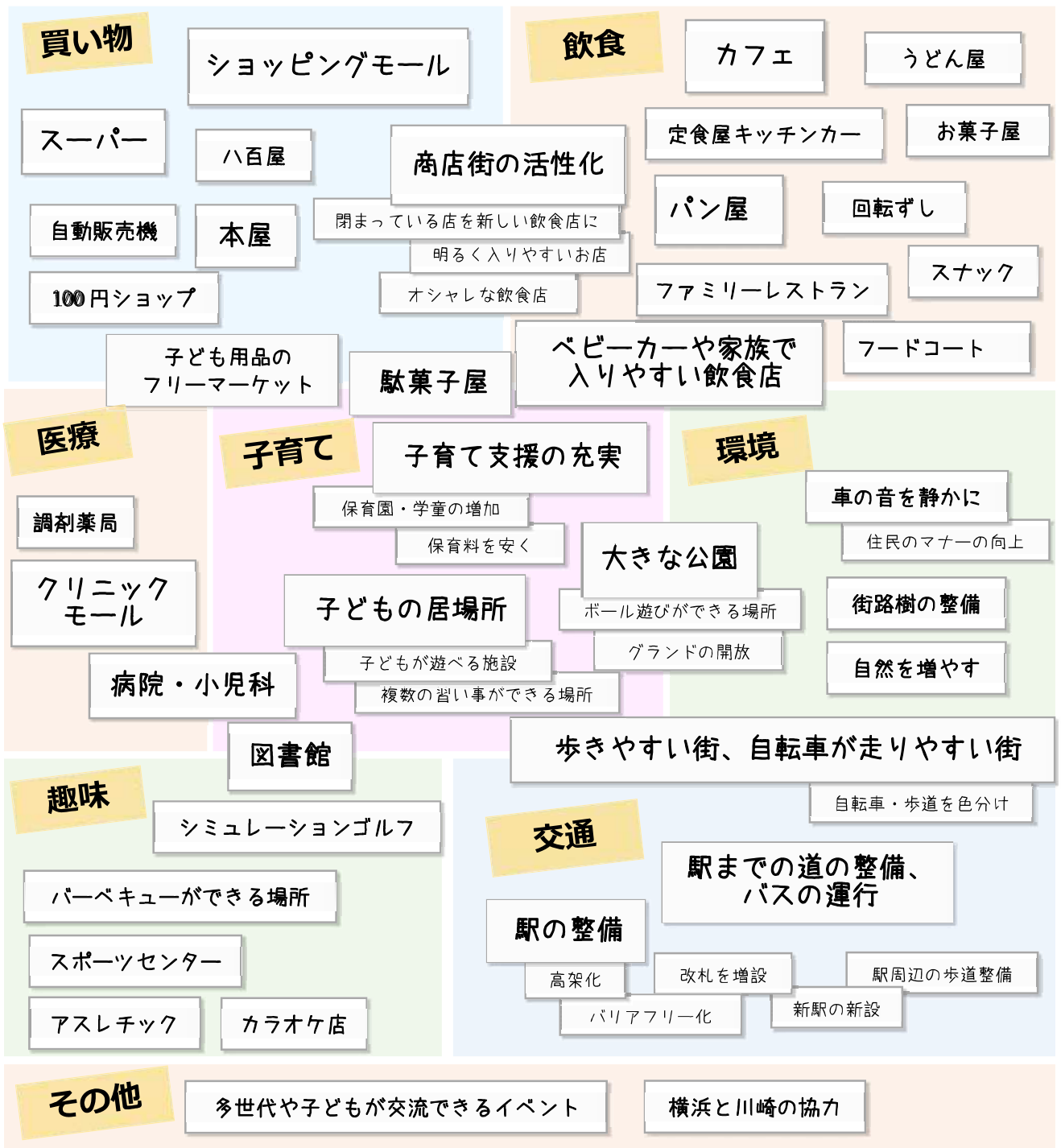
子どもが参加できる	4名
お祭り	3名
近隣地域の住民との交流	2名
防災	2名
スポーツ	2名
保育園や小学校などの施設との交流	1名
大人が交流できる	1名
交通安全	0
ペット	0

こんなのが
あったらいいな

3. 地域の活性化に向けた住民の声

秋まつり参加者149名の方に「地域をもっと活性化するために」をテーマに書いていただいた意見を8分類してまとめました。

後日、商店街等の地域情報をまとめてマンションの住民に発信を行いました。



4. interview

さいわい縁むす日プロジェクト クレストプライムレジデンス自治会 × 幸区社会福祉協議会

さいわい縁むす日事業として実施した「秋まつり」の振り返りとともに、自治会運営、管理組合との関係など大型マンション特有の課題や工夫、今後のビジョンについてうかがいました。



左から諏訪部副会長、浅利会長、人見会計監査

自治会設立まで

社協 自治会設立の経過を教えてください。

浅利 マンションができた当初から自治会を設立してはと管理組合や行政から声かけがありました。自治会は作りたいけど、担い手となる人材がいるか悩んでいましたが、まずはイベントを実施してみようと。

社協 イベントはどなたが担当に？

浅利 管理組合から私ともう一人が選ばれましたが、2人では難しいので立候補で準備委員会を作ることになりました。管理組合の総会で手を挙げて集まったのが今の役員メンバーです。そのまま自治会にすることとなり、令和5年に設立しました。結果的に自治会立上げに5～6年かかりました。

社協 立候補の募集方法は？

浅利 総会前に「準備委員をしませんか？」というチラシを管理組合が全世帯にポスティングしました。チラシの下段が申込書になっていて、各棟にあるコンシェルジュのポストに投函する、アナログ式です。この方法に不

安はありましたが、意外と集まったと思います。

イベントが好きで自治会役員に

社協 役員構成は？

浅利 会長、副会長、会計、会計監査の12名で構成しています。人数に意味はなく、最初に集まったのが12名ということです。

社協 男女比は？

浅利 女性6人、男性6人です。

社協 いいバランスですね。

諏訪部 年齢層が若いというのもあるかもしれませんが。

社協 任期は？

浅利 初年度は1年、今は2年ですが、まだ入れ替わりはありません。これから色々な人に入ってもらわないといけないという課題意識を持っています。諏訪部さんが立ち上げたバーベキュー同好会でも活動しながら役員候補を集めています。

社協 諏訪部さんが役員になろうと思ったきっかけは？

諏訪部 私はイベントや行事が好きなので、自治会に入れば、そうした提案ができるのではと思いました。

浅利 手を挙げてから2〜3か月という早さでバーベキュー同好会ができました。

管理組合と自治会の関係性

社協 管理組合があるのはマンションの特長です。どのような関係ですか？

浅利 自主防災活動やクリスマスツリーの設置など、一緒に動くこともあります。

社協 町内会の場合、管理もイベントも町内会の役割ですが、マンションだと管理組合が施設管理、自治会はイベントといった役割分担ですか？

浅利 難しいところです。管理組合と自治会の明確な住み分けがあるようでないことが自治会の中で問題になっています。

社協 管理組合の役員構成は？

浅利 住民です。管理組合は法律で設置が義務付けられていて、30名程度が必要です。

社協 管理組合役員の選出方法は？

浅利 基本的には立候補で、管理組合と自治会の役員を兼任している人もいます。諏訪部さんは最も長く兼任しています。

社協 管理組合と自治会のメンバーは分けた方が良いですか？

諏訪部 管理組合は住民のクレームや苦情の処理、自治会はイベントなど会議の質が違うので分けた方が良いと思います。

浅利 もちろん、両者の連携は取れた方が良いでしょう。

諏訪部 浅利会長はよく管理組合に参加して

説明しています。

浅利 自治会立ち上げ時、意外と加入率が低かったんです。そうした経過も踏まえて、自主防災組織を作るときには、管理組合5人と自治会5人で、半分ずつ人を出すことにしました。

自治会の入退会

社協 現在の自治会の加入率は？

浅利 8割くらいです。単身赴任の方や引越しする方も多いです。

社協 転入者への案内は自治会が？

浅利 はい。年度替わりに役員が説明して、勧誘しています。管理会社をお願いすると、加入者の管理費と自治会費が一緒に引き落とされます。

社協 自治会費はいくらですか？

浅利 1か月50円です。秋まつりで自治会費のほとんどを活用しています。

社協 途中退会もありますか？

浅利 はい。退会する場合は（各棟にある）自治会ポストに退会届が提出されます。その情報を管理会社に伝えて自治会費の引き落としを止めてもらいます。

役員会の時間は短く！

社協 どのような会議がありますか？

浅利 自治会役員会は月1回、日曜日の朝1時間程度で開催しています。この時間が一番集まりやすく、子ども連れの方もいるので、時間内に終わるようにこだわっています。大体その後にイベントがあります。あと年1回総会を開催します。

社協 総会はどのくらい集まりますか？

浅利 コロナ禍の影響もあり、ほぼ書面（委

任状)です。去年は3人出席があり、秋まつりの苦情が出されました。

社協 管理組合の会議は？

浅利 役員会を月1回、土曜日の夕方16時から4時間、早くても2時間くらいです。

社協 秋まつりに向けて実行委員会を設置したとうかがいでしたが、開催回数は？

浅利 自治会の役員会とは別に10回くらい開催しました。メンバーは役員会の中で手を挙げてくれた6人です。前年は3人でした。

ボランティア10人とバーベキュー同好会には説明会を1回開催し、7割の参加でした。

ポスティングが一番確実

社協 広報の方法は？

浅利 各建物の1階ポストのところに掲示板はありますが、目立たない場所で効果は低いと感じています。

社協 回覧板などは？

浅利 ありません。管理会社に許可を得てポスティングするのが一番確実です。マンションが大きく、ポスティングは4時間くらいかかります。人集めを含め、それなりの覚悟と準備が必要です。秋まつりのチラシも精鋭メンバーで実施しましたが、4時間半かかりました。

社協 コピー機などの設備は？

浅利 ありますが全戸配布のような大規模な場合はネット印刷を利用しています。

今後のテーマは役割分担と役員増員

社協 運営していて一番大変なことは？

浅利 自治会員の名簿管理です。

諏訪部 個人情報なので共有して取り組むこ

とが難しく、会長が一人で担っています。

浅利 秋まつり前は、自分の仕事を調整しないとできない状況で大変でした。

諏訪部 浅利さんじゃなきゃ会長は務まらない。

浅利 私の後任が苦しくないように分担の方法を話し合う予定です。また、役員の人数を増やしたいと考えています。

役員募集は試行錯誤

社協 役員募集の取り組みについて教えてください。

人見 自治会主催のイベントに参加してもらい、自治会を知ってもらうという方式で役員を募ろうとやってきましたが、あまり進展しませんでした。

子どもイベント「パパママ集まって」は、参加者が60人ぐらい集まりました。子どもの年齢ごとにグループを作り、役員がファシリテーターとしてパパとママが話やすい雰囲気を作ることを主軸にしていたので、「自治会の役員どうですか？」という話にならず、最終的にアンケートと最後の挨拶で伝えるに留めました。自治会の裾野を広めることはできましたが、自治会役員募集には繋がっていませんでした。

今後は直球勝負で「自治会役員に興味のある人集まって」の会をやってみて、0人でもやり続けることで、知ってもらって「ちょっと聞いてみようかな」の入口にしたいと思っています。

住民主催イベント

社協 「パパママ集まって」は自治会事業としての開催ですか？

人見 自治会の中の分科会として「住民主催イベント」というチームがあります。住民がやってみたいイベントを住民に主催してもらい、自治会はそのサポートをします。その延長線上で「パパママクレストカフェ」を提携して実施しています。

社協 他にどのようなチームがありますか？

浅利 子ども会、バーベキュー同好会、住民主催イベントチームの3つです。これから部活動的なものを増やしていきたいと思っています。

社協 興味深いですね。

人見 やりたいことがある住民を募集して、手が拳がれば自治会と打合せをして、実施します。平均すると月1回ぐらいの頻度で開催しています。

例えばオリンピックやサッカーなどのパブリックビューイングを実施しました。サッカー日本代表の試合は満席で、パイプ椅子を追加で用意しました。子どもたちには自治会で購入した鳴り物を渡して大盛況でした。

他にも、自分の子どもが将棋をしているので「みんなで将棋をしよう」や「ボードゲーム」など個人のアイデアでやりたいことが集まってきます。基本的に予算はなく、必要な物は持ち寄り方式で住民の方が集めます。参加者は当日にならないと分かりませんが、大体10人以上は集まります。

リピート開催もあり、パブリックビューイングは3回、ボードゲームは2回開催しています。

イベントで役員と住民の関係ができたことで、秋まつりでのお手伝いにつながっています。

社協 住民がやりたいことをサポートする形

がとてもいいですね。

人見 最初の打合せでルールだけは確認します。ルールを守ることが前提で、あとはお任せです。役員の負担が増えないということも重要だと思っています。バーベキュー同好会含め、会長との信頼関係のもと、任せてくれていると思っています。

浅利 私も参加者として楽しませてもらっています。

社協 住民主催イベントのルールについて教えてください。

人見 営利活動、布教活動、公序良俗に反する行為などがいないか確認しています。個人情報との関係もあるので、写真などは基本的に撮らない、撮る場合は許諾を取るなども注意しています。また、自治会主催のイベントなので自治会員のみの参加としています。

浅利 念書をもらっていますね。

人見 打合せの時にルールを確認して署名をもらいます。逸脱したことをされてしまうと、自治会の評判が落ちてしまいます。住民の主催だとしても参加している方々は「自治会のイベント」として参加されています。これだけ住民同士が密集して生活していると悪いことはすぐに広まります。だからこそ、厳しくしています。

最初の打合せはオンラインだとしても顔を見て行います。メールのみはなしです。色々な話をし、信頼関係を築いてから主催してもらうようにしているので、今のところトラブルはありません。

活動報告はXやブログを使い、接触頻度を高めていくことを浅利会長中心に行っています。

社協 若い世代には SNS の方が馴染みやすい？

浅利 若くても、SNS をみんなが得意という訳ではないと思います。

人見 一番見ているのはチラシです。デジタルとアナログのハイブリットが一番効果的です。本当はエレベーターの中に掲示するのが一番良いけど、ルール上それができないのが残念です。

バーベキュー同好会

社協 バーベキュー同好会について教えてください。

諏訪部 バーベキュー同好会は 50 人ぐらいメンバーがいます。バーベキューをする場所がマンション内にあるので、貸し切りにして開催しています。活動が定着して、メンバーのみで運営しています。

楽しそうな行事で人を集めて、役員の担い手を増やしていけると良いかなと。設備があるマンションだからこその活動だと思います。先日はパーティールームからカラオケに流れて、みんな楽しんでいました。

自治会の必要性

社協 根本的で失礼な質問になりますが、自治会はあった方が良いと思いますか？

浅利 あった方が良いですね。

人見 あった方が何かしら良いかなと思います。

諏訪部 このぐらいの規模になると近隣と一緒に何かするのは難しい。

人見 自治会には色々な委員があって、夏や年末にパトロールなどをみんなで行います。でも自治会がなくなると、そういった動きが

全くなくなり、行政など関係機関との関りも薄くなります。そうすると、住民からすると「自治会って何？管理組合とか興味ないよ」となってしまいます。でもその中でお祭りがあるとたくさんの方が来てくれて、意識はしてないけど、触れている機会が多い。そういうことをやっているのが、実は自治会であることを考えると、あった方が良いと思います。でも全く興味の無い層が増えてきているのは確かです。

私自身も全く興味がなかったけど、ふとしたことがきっかけで自治会に入ってみて、皆さんとお話していくと面白くなって。そうことを知ってもらえると自治会の運営に興味をもってもらえます。

役員募集のチラシも最初は・・・

社協 人見さんが役員になろうと思ったきっかけは？

人見 私はたまたまポストに入っていた役員募集のチラシを見て、初めは全く興味がなくて捨てようかなと思っていました。でも妻と「引っ越してきたばかりで誰も知らないよね、マンションの中に顔見知りの方ができるかもしれないね」と話してちょっと参加してみることに。そうしたらあれよあれよという間に…

浅利 濃密な関係になりました（笑）

人見 顔を見ると、「お疲れさま！」みたいな関係になり、マンションの中で何気ない会話ができるようになったただけでも、入って良かったなと思います。そういう繋がりを少しずつでも広げていけたら良いと思います。

諏訪部 会長は大変だけだね。

人見 私たち（諏訪部さんと人見さん）は

割と楽しくやれています。

社協 みなさんやりがいを感じていますか？

全員 感じています。

春に小学校が開校

社協 今後の自治会活動の展望は？

浅利 新小倉という町がキラキラ光って見える地域にしたいです。

諏訪部 小学校ができれば変わりますよ。

浅利 そうなんです。小学校ができればどうなるという話になっていて、PTAと自治会と管理組合、3つの組織がどのようにまとまり、どういった方向にもっていくか。そこは地域の皆さんに力を借りて、体制を作っていくなくてはと考えています。

秋まつりの効果

社協 自治会設立時から秋まつりの構想はありましたか？

浅利 ないです。一度、管理組合が小さな祭りを開催しましたが、すごい行列ができてしまってできなくなりました。イベント担当と「一緒にやりますか？」という話になりましたが、コロナ禍で止まってしまって。その後、昨年度の跨線橋下のまつりにつながっていきました。

人見 夏まつりの予定だったのが暑すぎて秋まつりになりました。

社協 まつりの効果や実施後の変化は？

浅利 昨年度のまつりはクレームばかりで…。今年はクレームがなく、トラウマを払拭できました。

人見 参加する人は、良いことは中々言わないけど、クレームは言います。去年に比べてクレームが一気に少なくなったのは評価に直

結すると思っています。さいわい縁むす日チームのおかげだと思っていますし、参加した住民も本当に楽しそうでした。

社協 さいわい縁むす日として、社協や行政がサポートさせていただきました。その効果はありましたか？

浅利 あります。我々は地域の中では新参者なので、地域の関係者を紹介していただけことが良かったです。個人は知っていても、その関係性までは中々分かりません。交通整理をしてくださった消防団の紹介などは本当に助かりました。

社協 地域情報を知りたいという意見が秋まつりで聞かれました。集めた情報を地域住民に周知する方法として先ほどのメール以外にありますか？

浅利 ブログとXを作ったので、そこから周知することは可能です。

社協 地元の商店街を住民に知ってもらいたいと考えています。折角色々なお店があるので、そういう情報を発信して知っていただけるようにお手伝いをしたいと思っています。自治会に入ったからそういう情報も入るようになったという風になると良いと思います。

浅利 ブログで展開していこうと考えています。秋まつりはおかげさまで無事に終わりましたが、出てきた意見をさいわい縁むす日のチームの皆さんと一緒に解決できるよう、これからもよろしくお願いします。

5. 考察

(1) 評価

さいわい縁むす日事業仕様書と本会が提案した内容をもとに、評価を行いたい。

① 地域活動に参加するきっかけを創出できたか？

多くの住民に参加いただき、内容に対する評価も高かったことから、きっかけを創出できたと考える。

様々なツールを活用した広報や、子育て世帯が多い特性を考慮し、事前に子ども向けの行事を開催したことなどによる効果と予想される。子どもの関心を惹くことで、家族の参加を増やしていくという流れが、子どもが多い地域では有効だと考えられる。

広報については、住民が利用するツールが世代により異なっており、参加を促したい住民層を考慮して方法を検討する必要がある。令和6年度幸区区民アンケート調査によると、町内会自治会に加入していない理由として「加入するきっかけがない」が最上位に挙げられている。町内会自治会が運営する魅力的なイベントは加入のきっかけになるものと考えられるが、イベントを知ってもらうためには広報の強化が必要である。今後は、町内会自治会運営のDX化が進むことで、住民に対して直接広報するというような新たな取組が求められる。

地域活動への参加については、継続した参加こそが重要であり、参加の仕方についても、行事の参加者からお手伝い、運営者へと参加の濃度が高まっていくことで持続可能な地域づくりが実現される。本事業はあくまで最初のきっかけに過ぎず、インタビューで聞かれた住民主体イベントなどを活用しながら、今後の継続した取組によって成果が出ることを期待したい。

② 地域課題の解決に資する取組ができたか？

3章に記載したとおり、自治会長との打ち合わせから5つの地域課題を確認している。担い手不足については、この後の④に記載のとおり、掘り起こしはできたと考える。

地域との関わりについては、日吉商店街連合会や日吉郷土史会、民生委員児童委員協議会、川崎市立看護大学、こども文化センターなどに参加していただいたことで、交流の機会を設けることができた。インタビューの中で自治会長が話されていたとおり、さいわい縁むす日事業支援者のネットワークの活用により、一番効果が発揮された部分である。

交通安全の意識については、特に子どもの意識向上を目的として、幸区役所危機管理担当に自転車シミュレーター体験を依頼し、大変好評をいただいたところである。楽しみながら学ぶ機会となったが、日常的な取組が必要であるため評価は難しい。

住民同士の交流については、参加者同士がともに楽しめるような企画を検討したが、安全面やスペースなどを考慮して実施に至らなかったため、取組ができなかった。

大規模イベント運営の不安については、アンケートやインタビューからも払拭できたことが分かる。会場で綿密に計測をするなど、自治会も細心の注意を払いながら準備を行ってきた成果であり、さらに、さいわい縁むす日事業として支援者が入ったことによる効果と考えられる。

以上の点から地域課題の解決に資する取組については概ね実施できたと考える。

③ 町内会・自治会の積極的な参加があったか？

役員会とは別に 10 回ほど打ち合わせが行われるなど、自治会長を中心としたメンバーによる主体的な運営が行われた。管理会社がブースを出すなど準備に携わっている点はマンション自治会ならではの関係性だろう。

一方で、会長の負担がかなり大きくなっている点が憂慮される。インタビューで、他の役員も認識している点であるが、準備の段階から、会長自身に負担が大きくなっている状況となっていたため、長期的な視点での継続性を考えると、次回への大きな課題であると考えられる。

④ 地域に眠っている新たな人材の掘り起こしができたか？

イベント終了後に自治会への加入者が10世帯あり、自治会加入者の掘り起こしができた。

また、参加者アンケート結果から、自治会の運営のお手伝いについて75%の方がしてもよいという考えを持っていることが分かった。今回のイベントへの満足感からそのような考えにつながったとも思われるが、一方で、個人情報問題もあり、希望している人を特定できていない状況のため、本事業で運営側の掘り起こしができたとはっきり言えない状況である。

役員インタビューから、役員の中でも人材、特に新しい役員の掘り起こしは大きな課題として挙げられており、すでに取組が進められている状況である。今回のようなイベントを楽しんでいただくことで自治会への関心が高まり、そのタイミングで役員への参加を促す取組を行うことで、より効果的な掘り起こしができると考えられる。

⑤ 多くの住民が関心を寄せ、人が集まる内容だったか？

非常に多くの来場をいただいたことから達成できたと考えられる。

要因としては、ステージ、キッチンカーを含む販売、体験、展示と多種多様な企画が要因と考えられ、その背景として、非常に大きな会場で実施できた点が大きかった。会場の調整については幸区役所にも協力いただき、近隣住民への事前アナウンスや、草刈りなど会場の事前準備が必要だったが、アンケートからも広い会場で子どもが遊べるスペースを用意できた点が大きかった。

地元文化の発信ということでステージを設営したが、参加団体も少なかったため、ステージの充実は次回以降への反省点と考えられる。

（２）今後のさいわい縁むす日事業について

地域においては、複雑化する課題への対応の必要性が高まっているが、町内会自治会の加入率低下など、地域のつながりの希薄化への危機感が一層高まるとともに、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動に様々な制約が生じている。

地域共生社会や地域包括ケアシステムなどの地域施策において、町内会自治会は活動の担い手と位置づけられており、存在ニーズと課題がともに高まっている状況となっている。

【参考：地域コミュニティに関する研究会報告書（令和4年4月）】

こうした状況の中、イベント等の支援を通じて、「地域における人と人とのつながり」の維持・構築をしていくさいわい縁むす日事業は存在意義が高いものである。

イベントは時間をかけて準備するものであり、その過程で、対象地区の役員と信頼関係が芽生え、本音で会話をすることができるようになり、インタビューのように貴重な実情を伺うことができた。

また、アンケートなどの効果測定も非常に興味深いものであった。地域活性化に必要なものを聞いた住民の声からは、様々な視点からの意見が書かれてい寄せられた。住民のニーズの結晶と言えるものであるが、中には情報提供することで解決できるものも見られたため、今回のイベント終了後に地域団体や商店街等の協力をいただきながら社会福祉協議会で情報をまとめ、発信した。

対象地区で確認できた効果を他の町内会自治会と共有していくことも大切である。今年度の支援を通じて得た知見やポイントを、「町内会自治会イベント開催に向けた手引き」にまとめた。

このように、「支援→振り返り→共有」という過程を毎年繰り返すことで、幸区のがつながりが強化されていくと考えられる。

一方で、今後対象地区が自立して同様の取組を継続していくことが重要であるが、翌年からはきなり支援なしでの実施はハードルが高いと予想される。1 年目は伴走型で支援を行い、翌年は自立した運営を後方から見守り、必要があればアドバイスをするというように、2 年継続で同地区を支援していくことで、支援の成果が継続されるのではないだろうか。

また、今年度は地域課題として挙げられなかったが、令和 6 年度幸区区民アンケート調査では、「10 年後の幸区」について「災害に強いまち」が最上位になっており、「町内会・自治会の活動で参加してみたいこと」では「防災活動」が 2 位になっている。住民の災害への関心が高いため、さいわい縁むす日事業においても、災害を意識した活動を検討してはどうだろうか。